

前回の J A X A 分科会（第 8 回）における意見ポイント

1．長期的な環境変化への対応

- 計画期間が従来よりも伸びているので、7 年間で考えられる環境変化にも触れるべき。
- 将来の海外の動向も踏まえることも極めて重要なので、海外動向にも触れるべきではないか。
- 7 年先、10 年先を見据えて、将来の環境変化など様々な状況に応じて対応していくという方向性が見えるようにすべき。
- （目標案に記載されている）プロジェクトは既視感があり、7 年間の新たなシーズへの対応というものが余り見えないので、将来の新たなシーズを考慮し、野心的な中期目標にすべき。
- 10 年先を見据えた新たなチャレンジ、全体を見て新たな芽出しをすべきことを書き込むべき。

2．宇宙基本計画との整合性

- 宇宙基本計画と中長期目標は合致させるべきで、この観点からは宇宙基本計画が掲げる宇宙政策の目標を明示的に記載すべき。
- 10 年先も見据える点では宇宙基本計画との整合が非常に重要になってくる。
- 将来の環境変化への対応については、宇宙基本計画として目指している方向に沿った形で、基本計画で記載されていることを延長させるような書き方が良いのではないか。

3．産業振興

- 2030 年の目指す方向性については宇宙産業ビジョン 2030 である程度示されているので、宇宙産業ビジョンの目標に向かってどう取り組むかということ盛り込むべき。
- 部品の認定をしているからこそ認定の研究が進むので、部品認定のようなダイレクトな研究開発ではない部分も記載をお願いしたい。

4．人材育成

- その産業を支える人材の育成というものをこの 7 年間の中の目標に埋め込むべき。産業人材の育成は極めて重要な問題で、失敗すると 10 年後に人材枯渇若しくは不要な人材があふれるおそれがある。
- 大学との協力関係をもっと強く打ち出していくべきで、大学等の他の研究機関の人を集めていくためにも、大学共同利用システムの強化を記載してはどうか。
- 近年、注目されている社会人の学び直しなどにも触れるべきではないか。

5．全体構成

- 宇宙基本計画の大前提が最初に書かれていて、その後に特にJAXAとして取り組むべきものが書かれていて、これ以降に個別が書いているが、整合していないように見えるので、分かり易いタイトルを付けるなどして、つながるように工夫していただきたい。

6．個別項目への意見等

- 「（１）安全保障の確保及び安全・安心な社会の実現」
 - ・ 「光衛星間通信技術の研究開発」など個別事項が書かれているが、将来の環境変化に対応する観点から、「測位、通信、情報収集等のための宇宙システムに資する研究開発」といった宇宙基本計画に示されている一般的な書き方にすべきではないか。
 - ・ 冒頭に「国際的な取組を先導及び推進する」となっているが、それ以降に、国際的な取組に関連する具体的な書きぶりが整合していないように見えるので改善していただきたい。
- 「（２）宇宙利用拡大と産業振興」において、産業振興は書かれているが、宇宙基本計画の目標に書かれている「地球規模課題の解決」といった文言がここにはないので盛り込んでいただきたい。
- 「（３）で宇宙科学・探査分野における世界最高水準の成果創出等」において、宇宙基本計画の目標で示されている科学技術基盤が抜けているので記述すべき。
- 「衛星測位」と「衛星通信」の項目における記載が少ないように見えるので工夫をお願いしたい。
- 「衛星通信」について、衛星バス技術ではなく衛星システム技術とするなど一般的な書き方にできないか。
- 「国際宇宙ステーション」について、「日米オープン・プラットフォーム・パートナーシップ・プログラム」と最後に書いてあるが、成果最大化やその次につなげていく観点から、もう少し前のほうに持ってきていただきたい。
- 「宇宙システム全体の機能保証」について、宇宙システム全体が地上システムあるいはネットワークなどを含むものと分かるように書くべき。
- AI、ビッグデータに関連したデータ解析技術など将来あるいは現在において必ず見通せるものをどこかに書き込んでみてはどうか。